平成23年度 決算報告 赤平市の家計簿

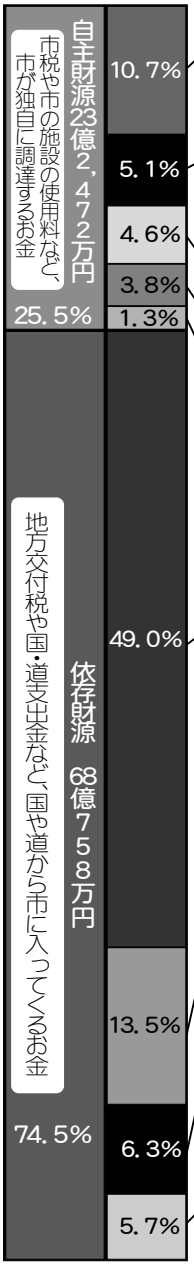
一般会計の状況

平成23年度各会計の決算について、平成24年９月に開かれた赤平市議会第３回定例会で認定されました。

平成23年度の市の財政運営は、「赤平市財政健全化計画（改訂版）」を基本にしつつ、一方では「第５次赤平市総合計画」を推進するため、総合計画に位置付けている産業振興・少子化対策・住環境整備の重点プロジェクトの実施を中心に地域振興に努めてまいりました。

一般会計の歳入決算額は、91億3,230万円で前年度に比べ4億3,555万円（4.5％）減少しました。主な歳入項目のうち市税収入は、個人市民税が前年度に比べて微減となったものの、一部企業の業績回復により法人市民税が増加となり、市税全体では2.6％の増加となりました。また、地方交付税の振替措置である臨時財政対策債を含めた地方交付税総額は2.3％の減少となりました。

歳出決算額は、87億4,608万円で前年度に比べ4億7,797万円（5.2％）減少しました。主な歳出項目のうち扶助費は生活保護費の減少等により対前年度比0.2％、人件費は主に退職手当組合納付金の清算額の減額により18.7％、普通建設事業費は主に国の緊急総合経済対策関連予算となる「きめ細かな交付金事業」「住民生活に光をそそぐ交付金事業」の減額により20.1％、それぞれ減少しました。



歳入

市税　9億7,938万円（10.7%）
税金のうち、市民税や固定資産税・軽自動車税など、市の歳入となるもの。

使用料及び手数料　4億6,599万円（5.1%）
市の施設などの使用料や、住民票の交付手数料など、サービスの提供を受けた方に納めていただくもの。

諸収入　4億1,867万円（4.6%）

繰越金　3億4,380万円（3.8%）

その他　1億1,688万円（1.3%）

その他の内訳

分担金及び負担金	6,163万円（0.7%）
財産収入	3,628万円（0.4%）
寄附金	1,151万円（0.1%）
繰入金	746万円（0.1%）

地方交付税　44億7,750万円（49.0%）
全国どの市町村に住んでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国が一定基準により市町村に交付するお金。国税のうち、所得税・法人税・酒税などの一部が充てられます。

国庫支出金　12億3,405万円（13.5%）
国が使い道を特定し市町村に交付するお金。

その他　5億7,787万円（6.3%）

その他の内訳

道支出金	3億4,044万円（3.7%）
地方消費税交付金	1億2,644万円（1.4%）
地方譲与税	7,383万円（0.8%）
その他交付金	3,716万円（0.4%）

市債　5億1,816万円（5.7%）
市が歳入の不足を補うために借りるお金。

歳出

総務費　4億2,317万円（4.8%）
地域対策や庁舎管理、戸籍事務、選挙などにかかる費用。

民生費　19億1,717万円（21.9%）
障がい者や高齢者・子どもなど、福祉の充実のためにかかる費用。

衛生費　4億8,196万円（5.5%）
市民の健康管理やごみ処理などにかかる費用。

商工費　2億1,084万円（2.4%）
商工業の振興や観光施設の整備などにかかる費用。

土木費　8億5,696万円（9.8%）
道路や橋、公園の整備や改修、公営住宅の建て替えなどにかかる費用。

教育費　4億6,273万円（5.3%）
幼稚園や小中学校などの学校教育、社会教育、スポーツ振興などの充実にかかる費用。

公債費　9億1,028万円（10.4%）
市が借りているお金を返済するための費用。

諸支出金　19億6,630万円（22.5%）

職員給与費　12億1,198万円（13.9%）
職員に対して支給される給料及び各種手当に要する費用。

その他　3億　469万円（3.5%）

その他の内訳

- **議会費**　6,855万円（0.8%）
  市議会の運営にかかる費用。
- **農林水産業費**　7,415万円（0.8%）
  農林産業の振興・発展などにかかる費用
- **労働費**　1,335万円（0.2%）
  労働行政にかかる費用。
- **消防費**　7,726万円（0.9%）
  消防や救急活動にかかる費用。
- **災害復旧費**　7,138万円（0.8%）
  災害復旧にかかる費用。

歳入総額　91億3,230万円　－　歳出総額　87億4,608万円

＝ 差引額　3億8,622万円

市債の状況

一般会計	89億5,466万円
特別会計	51億4,553万円
企業会計	40億9,962万円
合　計	181億9,981万円

（平成23年度末現在 未償還元金）

※今後償還（返済）しなければならない市債の残額

企業会計の状況

病院事業会計では、病床規模の縮小や内科医師の不足等により、外来患者・入院患者ともに前年度を下回りましたが、医業収益全体では「市立病院経営健全化計画」を上回る収益を確保しました。また、病床数の再編や職員の適正配置、一般会計からの繰出金の増額によって経営健全化計画を４年上回る速さで不良債務を解消する結果となりました。

▶▶▶病院事業会計◀◀◀

１．損益計算書

	金　額		金　額
医業費用	17億8,349万円	医業収益	18億4,005万円
医業外費用	1億2,702万円	医業外収益	1億9,015万円
特別損失	80万円	特別利益	6億5,531万円
計	19億1,131万円	計	26億8,551万円
		当年度純利益	7億7,420万円

２．貸借対照表

	金　額		金　額
（資産の部）		（負債の部）	
固定資産	33億6,141万円	固定負債	7億9,810万円
流動資産	3億3,689万円	流動負債	2億7,690万円
		（資本の部）	
		資本金	39億　49万円
		剰余金	△12億7,719万円
計	36億9,830万円	計	36億9,830万円

３．患　者　数

・外　来　延　9万　252人（１日平均　370人）
・入　院　延　4万1,864人（１日平均　114人）

▶▶▶水道事業会計◀◀◀

１．損益計算書

	金　額		金　額
営業費用	2億3,583万円	営業収益	2億8,714万円
営業外費用	3,029万円	営業外収益	1,334万円
特別損失	377万円	特別利益	0万円
計	2億6,989万円	計	3億　48万円
		当年度純利益	3,059万円

２．貸借対照表

	金　額		金　額
（資産の部）		（負債の部）	
固定資産	25億2,679万円	固定負債	174万円
流動資産	2億6,834万円	流動負債	670万円
		（資本の部）	
		資本金	14億7,315万円
		剰余金	13億1,354万円
計	27億9,513万円	計	27億9,513万円

世帯・個人当たりの状況

世帯数…6,596世帯　　人　口…12,234人
（平成24年３月31日現在）

148,481円／一世帯　　市税の負担額　　80,054円／市民一人

※市税収入を一世帯当たり・市民１人当たりに換算

1,325,967円／一世帯　　決算額（費用）　　714,899円／市民一人

※歳出（かかった費用）を一世帯当たり・市民１人当たりに換算

平成23年度の主な事業

❶都市公園改修工事
（若木町公園、茂尻駅前公園、東文京公園、西文京公園）
❷地域住宅交付金事業
（茂尻第１団地２号棟、福栄地区道路整備など）
❸学校施設耐震化事業（茂尻小学校）
❹災害復旧事業（大雨災害）
❺町内会館等施設整備事業
（昭和町老人クラブ屋根・外壁補修工事など）
❻清掃運搬施設等整備事業（じん芥収集車更新）
❼住友地区共同浴場施設整備事業

❽道路新設改良事業
（市道４路線、青葉通排水整備）
❾赤平公園駐車場整備事業
❿市営住宅改修事業
（豊栄団地、昭和団地屋根補修など）

⓫あんしん住宅助成事業
⓬消防ポンプ自動車購入事業
⓭文化会館除却事業
⓮旧市民プール除却事業
⓯公共下水道事業

特別会計の状況

◎国民健康保険特別会計
歳　入　20億7,846万円
歳　出　19億6,794万円
差引残額　1億1,052万円

◎後期高齢者医療特別会計
歳　入　2億2,542万円
歳　出　2億2,318万円
差引残額　224万円

◎土地造成事業特別会計
歳　入　55万円
歳　出　0万円
差引残額　55万円

◎下水道事業特別会計
歳　入　6億6,371万円
歳　出　6億5,429万円
差引残額　942万円

◎霊園特別会計
歳　入　1,104万円
歳　出　1,026万円
差引残額　78万円

◎用地取得特別会計
歳　入　4,681万円
歳　出　4,681万円
差引残額　0万円

◎介護サービス事業特別会計
歳　入　1億9,741万円
歳　出　1億8,658万円
差引残額　1,083万円

◎介護保険特別会計
歳　入　12億5,948万円
歳　出　12億4,808万円
差引残額　1,140万円